

为尔楚教育天下

明治十三年四月

小學修身訓

明治十四年
九月改正

文部省編輯局印行

小學修身訓下

西村茂樹 選錄

第五 養智

① 凡事豫スレバ立チ。豫セザレバ廢ル。言前ニ定
マレバ踏カズ。事前ニ定マレバ困マズ。行前ニ定
マレバ疚カラズ。道前ニ定マレバ窮マラズ。中庸
② 君子ハ其位ニ素シテ行フ。其外ヲ願ハズ。富貴
ニ素シテハ富貴ヲ行ヒ。貧賤ニ素シテハ貧賤ヲ

行ヒ。夷狄ニ素シテハ夷狄ヲ行ヒ。患難ニ素シテハ患難ヲ行フ。君子ハ入ルトシテ自得セザルナシ。同上

③愚ニシテ自用ユルヲ好ミ。賤フシテ自專ニスルヲ好ミ。今ノ世ニ生レテ古ノ道ニ反サントス此ノ如キ者ハ裁其身ニ及ブ者ナリ。同上

④多ク聞テ疑ハシキヲ闕キ。慎ンテ其餘ヲ言ヘバ尤寡シ。多ク見テ殆キヲ闕キ。慎ンテ其餘ヲ行ヘバ悔寡シ。論語

⑤暴虎馮河シ。死シテ悔ユルコナキ者ハ。吾ハ與

彼

セザルナリ。必ヤ事ニ臨ンデ懼シ。謀ヲ好ンデ成サン者ナリ。同上

⑥過ギタルハ猶及バザルガ如シ。同上

⑦天下ノ難事ハ必易キニ作り。天下ノ大事ハ必細キニ作ル。老子

⑧天ノ未陰雨セザルニ追ビ。彼桑土ヲ徹リテ牖戸ヲ綢繆ス。詩經

⑨夫人必自侮ツテ後人_チ之ヲ侮リ。家必自毀ツテ後人_チ之ヲ毀チ。國必自伐ツテ後人_チ之ヲ伐ツ。孟子

⑩命ニ非ルモノ莫シ。順ツテ其正ヲ受ク。是故ニ

命ヲ知ル者ハ巖牆ノ下ニ立タズ。其道ヲ盡シテ死スル者ハ正命ナリ。桎梏シテ死スル者ハ正命ニ非ザルナリ。同上

①其進ムヲ銳キ者ハ其退クヲ速ナリ。同上

②禍福門ナリ。唯人ノ招ク所ナリ。左傳

③千丈ノ堤ハ螻蟻ノ穴ヲ以テ潰ユ。韓非子

④前車ノ覆ヘルハ後車ノ戒ナリ。漢書

⑤瓜田ニ履ヲ納レズ。李下ニ冠ヲ正サズ。文選

⑥言ヲ慎ム者ハ安ク。妄談スル者ハ危シ。仁義ハ人ヲ護リ。罪惡ハ人ヲ敗ル。瑣羅門ノ箴言

放

⑦盛饌凡ニ列シテ人ト與ニ爭ハンヨリハ一方

ノ餅。反テ安然トシテ之ヲ食フヲ得ルニ如カ

ズ。位卑フシテ言高キハ。宜キニ非ザルナリ。位高

フシテ言卑キモ。亦宜キニ非ザルナリ。同上

⑧智者ハ言ヲ聞キテ之ヲ衷ニ藏メ。愚者ハ詞多

クシテ害人ニ及ブ。怨ヲ匿シテ友トシ。人ノ惡ヲ

播揚スルハ。愚者ノ爲ス所ナリ。同上

⑨孔子曰ク。由汝ニ之ヲ知ルヲ誨ヘンカ。之ヲ

知ルヲ知ルト爲シ。知ラザルヲ知ラズトセヨ。是

知レルナリ。論語

②人遠キ慮ナキ片ハ。必^ス近キ憂アリ。同上

③巧言ハ徳ヲ亂ル。小^レク忍ビザレバ則^チ大謀ヲ亂ル。同上

④天ヲ怨ミズ。人ヲ尤メズ。下學シテ上達ス。我ヲ知ル者ハソレ天乎。同上

⑤積善ノ家ニハ必^ス餘慶アリ。積不善ノ家ニハ必^ス餘殃アリ。周易

⑥能ヲ以テ不能ニ問ヒ。多キヲ以テ寡キニ問ヒ。有レドモ無キガ若ク。實ツレドモ虚シキガ若ク。犯セドモ校セズ。曾子

波

⑦知識見解ハ人ニ自慊ノ心ヲ懷カシメ。極メテ意ニ忤フノ事ニ逢フト雖^モ其快樂ノ真ヲ失フトナカラシム。西國ノ古言

⑧妬忌ト憤怒トハ。反ツテ已ガ性命ヲ短縮シ。煩慮ハ人ヲシテ常ニ歲月ノ短キヲ覺エシム。同上

⑨智者ノ後ニ隨ツテ行ク者ハ。亦智アルモノト稱スベシ。惡人ト事ヲ共ニスル者ハ。愚人タルコト免カレザルベシ。同上

⑩汝ヲ稱揚スルノ言語ハ。賤ンデ之ヲ却クベシ。何トナレバ。諂諛ハ惡事ノ乳養物ナレバナリ。西國

詩古

○横逆損亡ハ甚嚴酷ナル教課ナリト雖氏汝才智ヲコ、ニ得ベシ。汝才智ヲ他ニ求ムルトモ得ラルベカラズ。培尼斯ノ詩

○宋ノ范質詩ヲ作りテ其従子杲ヲ曉シテ曰ク。物盛ニナレバ必衰ヘ隆アレバ還替アリ。速ニ成レバ堅牢ナラズ。亟ニ走レバ多クハ顛躓ス。灼々タル園中ノ花。早ク發ケバ還ツテ先萎ム。遲々タル澗畔ノ松。鬱々トシテ晚翠ヲ含メリ。賦命疾徐アリ。青雲力メテ致シ難シ。語ヲ寄セテ諸郎ニ謝

放

ス。躁進ハ徒爲ノミ。

○物主角アレバ多クハ人ノ眼目ヲ刺シ。亦玷缺シ易シ。故ニ君子ノ世ニ處ルハ。當ニ渾然天成ナルベシ。然ルハ人厭忌セズ。楊龜山

○輕シク發言ヲ聽クハ。安人ノ譖訴ニ非ザルヲ知ラン。當ニ忍耐三思スベシ。事ニ因テ相爭フハ。爲我ガ是ニアラザルヲ知ラン。須ク平心ニ暗想スベシ。朱子

○凡世上ニ於テ惡事ノ增長シ。正理ノ押付ケラル、ヲ見テ。此世界ヲ以テ道德混亂破壊ノ世界

ナリト思フハ。造化ノ法則ヲ知ラザル者ニレテ。此存念ヨリレテ。遂ニ許多ノ謬見妄想ヲ生スルニ至ル者ナリ。弗氏ノ脩身學

○凡の人財祿を得るを好まざるをなし。是を好まば家業をよく力むべし。又長生を好まざるをなし。是を好まば養生の道をよく務むべし。又善を好まざるをなし。是を好まば學問を勉めて道理を知るべし。大和俗訓

○酒食を過ぐると病を生ずるの本なり。言を慎むと禍の本なり。思案せざるは過の本なり。

故

私欲深き身を殺むの本なり。怒を堪へざるは争の本なり。儉約するは困窮の本なり。此六本去らざるは身と家とを保ち難し。同上

○凡夫の心を頼もしげなし。親を厚けざるは變じ易し。今親むとみへども後を保ち難し。人の心を憑くは過つことなり。同上

○人の譽め毀すを聞くとよく察する。譽る人毀る人智なく。人の善惡と事の是非を知らず。其上私なり。我氣に合つるを譽め。氣に合はざるを毀む。善惡亂きて人を迷はす。かゝる人

の毀譽ハ必信どべつらば。同上

○世俗の語ヲ傳ふるに虚言多し。盡信どべつらば。殊に怪しまるゝ多し。偽なり。神佛の奇特も俗人の語ヲ傳ふるに空事多し。凡正法にハ奇怪なし。奇怪なるは正法に非ば。虚事を作るゝ語ヲ傳ふるに世に多し。妄に人の言に任せて語ヲ傳ふべつらば。人の胡亂するを信じて又人に語まば。我も亦虚言をいふの罪あり。同上

○我ト力ヲ角スル者ハ。我精神ヲ強クシ。我練熟ヲ助クル者ナリ。故ニ我ニ敵スル者ハ。我ヲ輔ク

故

ル者ナリ。立志編

○身家邦國ハ。小々ナルモノヲ謹ミ集メタルニ由リテ成リ立タル者ナレバ。小々ナル者ヲ輕ン

上同

ジ棄ツルコトハ。身家邦國ヲ破ル所以ノ漸ナリ。○人有益ニ光陰ヲ用ユルハ其務ナリト雖。亦

自休憩歡樂ヲ爲サバ。ルコトヲ得ズ。蓋休憩歡樂ヲ爲スニハ。精神ト身體トヲ憩ヒ。其精カヲ増シテ新ニ勤勞ヲ爲スコトヲ得ベキヲ旨トスベシ。遊歩運動ハ精神ヲ休憩スルノ最良法トス。善書ヲ讀ミ心ヲ慰ムルハ。身體ヲ休憩スルノ最良法トス。

勸善訓蒙

42
○凡人類ノ周圍ニ日々起發スル事件ハ浮漚飄雲ノ如ク忽然トレテ飛散スル者ニ非ズ。必再度同様ノ事ノ起ル時ノ對照トナルベキ者ナリ。是則造物者ガ天下ノ人ニ其經驗ヲ教示スル所以ノ者ニレテ。教示ノ書籍ハ現ニ世人ノ目前ニ在リ。希氏ノ脩身學

43
○災厄禍難ニ逢ヒタル時。惟悲歎スルノミニテ。之ヲ驅逐センコトヲ欲セザル者ハ懦弱ノ人ナリ。汝モレ災難ニ逢フコトアラバ。剛膽ヲ張り之ニ抵

波

抗シテ持堪ユベシ。汝ガ災難ノ爲ニ淹没セララルマデニハ。許多ノ時日アルベケレバ。其間ニ必救援ヲ得ル時機アルベシ。少年賢

44
○心の器狭き人ハ。我智一ヲ用ひて萬の事に通ぜと思ひ。人の智を用ひぬ。古語に自用ゆきバ小ありといへり。我智一ヲ持てて人の智を用ひざるを。世間の萬事我一人にて知る難し。知らざる事多けきバ小智といふべし。心の器廣き人ハ。我一人の智を用ひぬ。廣く人に問ひ聞て。其善を取用ゆる故。衆人の智を合せ我智也。是大智と云べし。大和俗訓

○吉事を祝ひ凶事を忌むハ人情なり。正月五節
供の俗節と元服嫁娶を祝ひ。死亡を忌むもうべ
なり。然れども愚人ハ吉凶につきまゝ其拘を全。祝
ひ過し忌過ごし。事に害あり。天命を知らばし
て福を求め禍を遁さんとする私心より起る。
是も禍福の理を知らばし。愚に迷へるあり。神
佛に妄に諂ひ祈りて福を求むるも亦同じ。家道訓
○世に交するを勢を知るべし。勢強きに我
に理ありても勝つたし。勝つたきを知らば争ひ
難うべし。さるるも時めける勢あり人に従ひ

改

て屈するハ諂ふるなり。初學訓

○家屋中ノ諸事ヲ行フ上ニ於テ。婦人ハ聰明才
智ナカルベカラズ。聰明才智ハ婦人ヲレテ有用
ナラレメ。勢力ヲ助ケ。其ヲレテ事ニ先テ思慮ス
ルヲ解セシメ。不意ニ生ズル事ヲ豫メ思量備具
スルヲ能クシ。家中ノ事ヲ辦理スル善法ヲ見出
シ。又何事ヲ做スニモ力量アラレムナリ。品行論
○豫メ後日ニ備フル裁度ノ智ハ。事務ヲ行フ上
ニ要用ナルヲ。婦人ニ於テモ亦男子ト異ナルヲ
ナシ。裁度ノ智ハ智識ヲ實事ニ用ユルモノニシ

テ。判斷ノ習熟セシモノナリ。是ニ由テ百事ヲ行
フニ適宜ナルヲ得。當然ナルヲ得ルナリ。同上

第六 處事

○物本末アリ。事終始アリ。先後スル所ヲ知レバ
則道ニ近シ。大學

○速ナランコヲ欲スル無カレ。小利ヲ見ルコト無
カレ。速ナランコヲ欲スレバ達セズ。小利ヲ見レ
バ大事成ラズ。論語

○成事ハ説カズ。遂事ハ諫メズ。既往ハ咎メズ。同

○居處恭シク。事ヲ執リテ敬ミ。人ト與ニシテ忠
ナルコトハ。夷狄ニ之クト雖氏棄ツベカラザルナ
リ。同上

○齊人言フコアリ。曰ク。智慧アリト雖氏勢ニ乗
ルニ如カズ。鑑基アリト雖氏時ヲ待ツニ如カズ。
孟子

○事ヲ企ツル前ニ先其理非如何ヲ考フベシ。事
ヲ爲ス前ニ先其利害如何ヲ考フベシ。西國ノ古

○人固ヨリ望ヲ掛ケ事ヲ務メテ其成就スルコ
ヲ忍耐シテ待ツベシ。然レ氏常ニ快樂ノ心ヲ失

フベカラズ。蓋快樂ノ心ハ事ヲ做スニ絶好ノ本
資ナリ。立志編

○凡職務ニ任ズル人ハ其事ヲ敬慎スベク。精細

波

ナルベク。規則ニ従フベク。敏捷ナルベク。期限ヲ
守ルベク。之ニ加フルニ靈變ノ智アルベキヲ要
ス。是天授ト雖氏亦學習慣練ニ由リテ生レ得ラ
ルベシ。同上

○今日一難事ヲ行ヒ。明日一難事ヲ行ヒ。久シケ
レハ則自然ニ堅固ナリ。呂氏童蒙訓

○宋范仲淹少フレテ大節アリ。其爲ス所アルハ。
必其方ヲ盡クシテ曰ク。コレヲ爲スコ我ヨリス
ル者ハ。當ニ是ノ如クスベシ。其成ルト否ラザル
トハ。我ニ在ザル者アリ。聖賢ト雖氏必トスルコ

能ハズ。吾豈苟モセンヤ。

○凡事機ノ來ルハ航海ニ風便ト潮候トヲ得タルガ如シ。此ノ如キ機會ニ逢ハズ。勇敢ナルベシ。剛毅ナルベシ。決斷スベシ。必疑惑怯懦怠惰等ニ由リテ空ク其時ヲ過ゴスベカラズ。人或ハ一瞬間ノ機會ヲ失ヒテ。畢生ノ時日ヲ損亡スルアリ。少年寶

○思慮ハ深ク精シクモベシ。淺ク粗クモベシ。事ヲ爲スニハ深ク思案ヲ好ミテ。輕々しく早くと決定モベシ。然レ思案ハ未ダつのに。急ぐぞ

波

るをよしとシ。早くと決定モベシ。必しもやゆり有り。大和俗訓

○我身の大事何モテ思慮決シ難キトある。又かほやけに申シ事ある時。皆思慮ある人に問ひ議す。其人の評論に従ふべし。我身の事ハ私欲ある故に。才ある人も心暗ク有る。善惡の理見えぬ。たし。我思慮ある所十分によしと思へど。傍より見まへ。惡き事多し。家道訓

○訟をバ俗に云ふ。と云ふ。と人ト理非を爭ふなり。凡初に於て證人を多く結び。證文を詳

ゐに取たむ。初をよと慎めば。終に訟なし。初疎か
ずまば。人よ里む事々言ひ掛らむ。後には悔
有。同上

○人ノ知識ハ失敗ヨリ學ビ得ル。勝利ヨリ學
ブヨリ多シ。人常ニ此事ハ是ニテ爲レ得ベシト
云ヘル方法ヲ發明スルハ。最初ニ是ニテハ爲レ
得ベカラザル者ヲ看出スヨリシテ此ニ進ムナ
リ。立志編

○偶然ノ事ハ。生平勉強シテ成就スル者ニ比ス
レバ。十ノ中ニ一モアラズ。是故ニ僥倖シテ其事

波

ヲ善クセント欲スルハ危キ道ナリ。勉強シテ心
ヲ用ユルヲハ。實ニ旅行スベキ平坦ノ通衢ナリ。
同上

○人タトヒ徳アリオアリ善行アリト雖氏。常ニ
疎漏脱略ナレバ。決シテ他人ニ信倚セラレズ。且
其爲ル所。何事ニテモ一度ニ完備スルヲ能ハズ。
重ネテ又始ヨリ改メ爲ササルヲ得ズ。同上

○凡職事ヲ爲スニ。十分完備ノ功ハ。精細ニ非ザ
レバ得ベカラズ。一事ニテモ十分完美ニ做レ得
タランニハ。十事ヲ做シテ半上落下ナルニ勝ル

べし。同上

○若事ノ成就センコヲ望マバ。自ラ往テ之ヲ爲スベシ。モシ事ノ成就センコヲ望マザレバ。他人ニ吩咐スベシ。西國ノ古諺

○初起ノ見ヲ慎ムベシ。必急遽ニ判決スルコ勿カレ。事ハ似テ真ニ非ザル者アリ。似ズシテ真ナル者アリ。思ハザルベカラザルナリ。徳朗倍

○事務ニ應ズル才能ハ。真正婦人ノ具フベキ者ニシテ。善ク治マレル家ノ安寧康福ノ原素ナリ。凡一家ヲ治ムルニハ。規法ナカルベカラズ。精密

皮

ナラザルベカラズ。逐層累次セザルベカラズ。勉強セザルベカラズ。儉節ナラザルベカラズ。計謀ナカルベカラズ。識見ナカルベカラズ。志向ニ副フ才能ナカルベカラズ。以上ノ物皆事務ヲ爲ス原素ナリ。品行論

○男子婦人性既ニ二種ナレバ。事各專屬アルベシ。男子ノ事ニシテ婦人亦倣シ得ベキ者アリト雖。此特別ノ事ニ止マルノミ。一般通用ノ事ニ非ズ。モシ婦人ヲシテ其居室ノ生涯ヲ止メ。外出シテ他事ノ職務ニ入りタランニハ。人間社會ニ

凶禍ヲ生スベシ。同上

及

皮

第七 家倫附師弟

○君君タリ。臣臣タリ。父父タリ。子子タリ。論語

○君令レ。臣共レ。父慈。子孝。兄愛。弟敬。夫和。妻柔。姑慈婦聽ナルハ禮ナリ。晏子

○君子ハ家ヲ出デズレテ教ヲ國ニ成ス。孝ハ君ニ事フル所以ナリ。弟ハ長ニ事フル所以ナリ。慈ハ衆ヲ使フ所以ナリ。大學

○道ハ邇キニ在リテ。而レテ諸ヲ遠キニ求メ。事ハ易キニ在リテ。而レテ諸ヲ難キニ求ム。人々其親ヲ親トシ。其長ヲ長トシテ天下平カナリ。孟子

○家ハ邦國ノ挾仁ナリ。家ニ在テ爲ル所ノモノ。外ニ發出シテ風俗ト爲リ。格言法語ト爲ル。故ニ一家ノ治法ハ。即邦國ノ治法ニシテ。其正邪純駁二致ナシ。特ニ大小ノ異ナルアルノミ。立志總論
○夫孝ハ善ク人ノ志ヲ繼ギ。善ク人ノ事ヲ述ブル者ナリ。中庸

○身體髮膚之ヲ父母ニ受ク。敢テ毀ヒ傷ラザルハ孝ノ始ナリ。身ヲ立テ道ヲ行ヒ。名ヲ後世ニ揚ゲ。以テ父母ヲ顯ハスハ孝ノ終ナリ。孝經
○凡、人ノ子タルノ禮。冬ハ溫ニシテ夏ハ清フシ。

政

タニ定メテ晨ニ省ミル。禮記

○子婦ノ孝ナル者敬ナル者ハ。父母舅姑ノ命。逆フコ勿カレ怠ルコ勿カレ。同上

○孝子ノ老ヲ養フヤ。其心ヲ樂マシメ。其志ニ違ハズ。其耳目ヲ樂マシメ。其寢處ヲ安ンジ。其飲食ヲ以テ之ヲ忠養ス。曾子

○父母之ヲ愛スレバ喜ンデ忘レズ。父母之ヲ惡マバ懼レテ怨ムコナシ。父母過アレバ諫メテ逆ハズ。同上

○爾小子宜ク父ノ訓ヲ聽クベシ。母ノ儀ヲ棄ツ

ルヲ勿カレ。此ヲ以テ飾ト爲セバ。首ニ花冠ヲ戴クガ如ク。項ニ金索ヲ垂ル、ガ如シ言。瑣羅門ノ歲

○父母過アルトモ子ハ其意ニ逆フベカラズ。宜シク尊敬ノ意ヲ失フコナク。徐ニ之ヲ諫ムベシ。屋爾爺

○或人問フ。父母タル者ノ職分ハ如何シ。答テ曰ク。兒子ノ身體ヲ健全ニ成長セシメ。天賜ノ良心良能ヲ發育セシメ。適當ナル生業ヲ選ビ與ヘ。造化ノ法則ヲ教ヘ。其法則ニ服従スルコノ肝要ナルヲ知ラシメ。自服従ノ模範ヲ立テ、是ニ示ス

波

等ナリ。理學問答

○或人問フ。子タル者ノ職分ハ如何シ。答テ曰ク。兒子ハ幼年ノ間ハ其父母ヲ以テ最上權アリテ最大恩アル人ト爲シテ。之ヲ尊敬シ之ニ順従セザルベカラズ。凡兒子ノ幼弱ノ間ハ父母ノ慈愛ニ頼ラザレバ其生命ヲ保續スルコト能ハズ。父母既ニ老ユル時ハ又其子ノ扶助ヲ要スルコトアリ。故ニ子タル者成長ノ後ハ父母ヨリ受ケタル所ノ慈愛ト親切トニ利息ヲ加ヘテ。父母ニ報酬セザルベカラズ。同上

○父母ハ已ガ職分ヲ行フ爲ニ其子ノ身體心思ヲ制御スルノ權アリ。然レ氏子既ニ成長シテ自一身ヲ養ヒ。自心智ヲ研キ。自脩身ノ責任ヲ決斷スルニ至ルハ。父母ハ其職分ト威權トヲ解クベシ。此時ハ子ノ成人トナリタル時ニシテ。國法ニテハ米國ノ二十一歳ニ滿ル時トス。然レドモ事實ニ於テハ。或ハ之ヨリ早キ者アリ。遲キ者アリ。物蘭ノ修身學

○然レ氏父母ヲ愛シ父母ヲ敬スルノ責任ハ。生涯存スル者ニシテ。年ヲ歴ルニ隨ヒ。寧増ス。ア

波

ルモ減ズルヲナシ。是幼少ノ時。父母撫育ノ恩ヲ報ジ。且任意剛愎ニシテ父母ヲ苦シメタル罪ヲ償フノ時ナリ。同上

○父母其職分ヲ欠ク時ハ。子ハ不孝ヲ行フテ可ナリト思フベカラズ。縱令父母父母タラズト雖。氏子ノ之ヲ愛敬スルノ職分ハ。天ノ確定スル所ニシテ。父母ノ行狀ニ由リテ變換スベキモノニアラズ。同上

○父母ニ孝ヲ盡スト云フハ。汝ガ身年長ジタリトモ。決シテ廢止スベキ者ニアラズ。歲月ノ進

行スルニ隨ヒ。小兒ハ長ジテ父母トナリ。父母ハ
 再小兒ト爲ル。幼年ノ時ニ汝ヲ抱キ腕ハ。今ハ
 及ツテ汝ガ壯健ナルカノ助ヲ要シ。汝ノ爲ニ勞
 作運動シタル手足ハ。今ハ汝ノ扶助ニ賴ラザル
 ラ得ザルニ至レリ。此時ニ當リ。善ク汝ガ愛敬ノ
 誠ヲ盡クレ。以テ往年撫育ノ大恩ヲ報ズベシ。若
 漫然ト經過シ。一旦父母此世ヲ去ルハ。其墳墓
 ニ向ヒテ永ク後悔ノ淚ヲ灑グトモ。竟ニ何ノ益
 カアラシ。哈氏ノ修身學

○親の子を慈愛するにハ。道藝を教つて子の才

改

徳を成就するを本とシ。當坐の苦身をいたさる
 了。子の願のゆゑに育てぬるを姑息の愛といふ。
 翁問答

○孝行の條目數多ありといへども。畢竟ハ二箇
 條に約まされ。第一にハ父母の心を安穩するや
 うにありあり。第二より父母の身をよく敬ひ養
 ふなり。同上

○人其幼稚ハ時ハ。自踐行スベキノ方ヲ知ラズ。
 只其見聞スル所ニ習ヒ。父母ノ習慣ヲ得テ其常
 ト爲ス。故ニ父母ハ平生稚子ニ善ヲ爲スノ模範

ヲ示スベシ。勸善訓蒙

○父母ハ其子ヲ指令スルノ權ヲ有シ。且其子ノ爲有益ニシテ道理ニ合ヒタルヲ命ズル者ナリ。故ニ子タル者ハ孝順ヲ盡シテ其教誨ヲ守ルベシ。同上

○父母過アレハ子慎シデ之ヲ隱諱スベシ。必其醜ヲ外ニ露ハス。勿カシ。同上

○父母卑賤ニシテ。我幸ニ高貴トナルヲ得ルトモ。父母ノ恩ヲ忘ル。ナク之ヲ尊敬スベシ。モシ顯榮ノ身ト爲リ父母ノ恩ヲ忘ル。片ハ其

故

罪愈大ナリトス。同上

○人ハ其父母ヲ愛戴スベキノミナラズ。又其祖父母ヲモ愛敬スベシ。祖父母高年ニシテ衰病ニ罹ル片ハ。懇切ニ之ヲ看護スル。其父母ニ於ルガ如クスベシ。同上。○以上

○匹配ノ際ハ生民ノ始。萬福ノ源ナリ。婚姻ノ禮正フレテ。然シテ後品物遂ゲテ天命全シ。漢ノ匡

○夫婦ハ人倫ノ大綱。天壽ノ萌ナリ。世俗嫁娶太早ク。未父母タルノ道ヲ知ラズシテ子アリ。是ヲ以テ教化明カナラズシテ民多ク夭ス。漢ノ王吉

○或人問フ。婚姻ヲ爲スニ就テノ天則ハ如何ン。
答テ曰ク。誰人ニテモ其身體ハ十今ニ成長シ。筋
肉ハ堅實ナルノ後ニシテ。又其身健全ナルニ非
ザレバ。婚姻ヲ行フベカラズ。年少ノ時ニ婚姻ス
レバ。爲ニ其身ノ健康ヲ傷リ。又ハ短矮尪弱ナル
子ヲ生ズ。其子ハ尋常ノ生計ト交際トヲ爲スヲ
能ハザルヲアルベシ。然レ氏又甚。遅クシテ。其年
齡人間一生ノ子午線ヲ過グルモ亦宜シカラザ
ルナリ。理學問答

○或人問フ。人ノ夫タル者ノ職分ハ如何ン。答テ

波

曰ク。夫タル者ハ其身及其家族ヲ養フガ爲ニ。農
工貿易又ハ其他ノ生業ヲ務メザルベカラズ。又
一生中ノ數時間ヲ以テ。政府ノ命令ニ從ヒ。公役
ヲ爲サミルベカラズ。同上

○或人問フ。人ノ婦タル者ノ職分ハ如何ン。答テ
曰ク。一家ノ内事ニ注意シ。家中ノ費用ニ管係セ
ル諸事ヲ整理シ。又男兒ニハ學問ノ初步ヲ教ヘ。
女兒ニハ學問ノ全部ヲ教ユベシ。同上

○夫婦相與ニ務ムベキノ道ハ。第一ハ親愛ニシ
テ第二ハ信實ナリ。又雙方ノ職分ヲ分チテ言フ

ハハ。夫ノ職ハ管理スルニ在リテ。婦ノ職ハ從順ナルニ在リ。弗氏ノ修身學

○一男ニシテ數婦ニ配スルヲハ。造物者ノ法則ニ反シ。人間ノ幸福ト社會ノ開明トヲ害スルノ甚キ者ナリ。同上

○一男ヲ以テ一女ニ配スルヲハ。上帝ノ法則ニシテ一家ノ真正ノ利益ハ。一夫一婦同居シテ生活ヲ爲スヨリ生ズ。一國ノ利益モ亦一家ノ利益ヨリ生スル者ナレバ。政府タル者ハ上帝ノ法則ニ從ヒ。嚴ニ多娶ノ風ヲ除キ去ルヲ務ムベキ

放

ナリ。希氏ノ修身學

○上帝ノ法則ニ於テ。親族中ノ最近キ者ノ婚姻ヲ禁ズ。凡一家ノ系統ノ正系ハ。皆互ニ之ヲ禁ズベクシテ。又父母ノ兄弟姉妹ト。我身ノ兄弟姉妹トノ系統モ亦之ヲ禁ズベシ。同上

○夫婦ハ子孫ノ相續ト故ニ。人倫の始あり。夫ハ外を治め婦ハ内を治む。夫ハ婦に禮儀正しく。婦ハ夫に和順するべし。然るに馴親したる任せ。敬と和とを失へば其道を失ふ。婦人道に違ふ。バ教へ正さるべし。怒るべし。怒まば和を失ふ。

初學訓

34

○夫を敬ふといふも。たゞ頭をまげ手を垂まて
 我身を引さざるのみに非ず。第一の敬といふは。
 夫に恥辱を與へざるに在り。まじく只何とぞ一
 生涯夫に恥をうつまじと心願を起し。歩々行住
 坐臥にこそを忘るはじきなり。此心願にて。女の
 道の大なる不足なく齊ふものあり。前訓
 ○今の世を見るに。或は其妻に愛著し。常に惡
 行あるをも知らず。或は其妻にせざる事あるに。
 多年の馴習を忘れてよしとなし。離別するも何り。

放

34

34

何をも古の法に違ひて。家の治まらざるといふ
 べし。六諭衍義大意

○人の妻たるものを。嫉妬の心努々起まべから
 ば。夫もし不義過あらば。まづの色を和らげ聲を柔
 らにし。諫むべし。諫め聽かば。怒らば。先暫
 く止めて後に夫の心と和らぎたる時復諫むべし。
 必氣色を暴とし聲をいら。げを夫に逆ひ叛と
 ことあるを。女大學。上夫婦ノ道。
 ○兄弟は同胞の親しみ父母に次ぎたる天倫な
 り。三親の内父子夫婦より交り久しき兄弟

40

あり。其親と久しきを樂むべし。兄の弟に愛深く。弟の兄に敬篤とまべし。兄の弟をいふとき似せし愛を薄とまべし。弟の兄をいふとき似せし敬を薄とまべし。各我道を盡さべし。兄の父に次ぎて尊ぶべし。弟を父母の子とまべし。我子と同一と愛さべし。初學訓

○兄弟ハ同根ヨリ出タル數幹ノ如ク。數幹ヨリ出タル數枝ノ如ク。又其氣ノ連ルヲ宛モ十指ノ如クナレバ。相和シ相愛セズンバアルベカラズ。

勸懲雜話

波

○汝ガ兄弟ハ同ジ母ノ胎内ヨリ出テ。同ジ母ノ乳ヲ飲ミ。又同ジ父ノ兩腕ノ内ニ抱カレシ者ナリ。然ルニ汝モレ兄弟ヲ親愛セザレバ。世上ニ何者ヲ以テ親愛スベキ者トスルヤ。同上

○兄弟ト姉妹トハ。男女ノ性ヲ異ニスルヨリシテ。其間ニ少シク職分ノ狀ヲ異ニスルヲアレハ。其主意ニ至リテハ同一ナリ。則其ハ兄弟姉妹ハ互ニ憐愛シ相親厚ナルベシ。其二ハ相互ノ名譽幸福ニ能ク意ヲ注グベシ。其三ハ若意見ノ相接觸スルヲアルキハ。裁判ヲ父母ノ威權ニ委托

スベシ。其四ハ。總テ禮義ヲ壞ルベキ行爲習慣ハ。務メテ之ヲ除キ去ルベシ。其五ハ。父母ノ家ヲ出テ別居スル後ト雖凡。兄弟姉妹ノ義務ヲ怠ルベカラズ。希氏ノ脩身學

○兄ハ年長ジテ弟ニ優レルニ由リ。能ク弟ヲ教訓シテ之ヲ保護スベク。苟且ニモ惡道ニ誘引スルヲ勿カレ。若弟ノ惡ヲ爲サントスル時ハ。兄ハ善行ノ規模ヲ示シ。カメテ之ヲ制スベシ。弟ハ父母ノ在ラザル時ハ。殊ニ兄ニ信隨シテ倚賴スベシ。勸善訓蒙

波

○伯叔父ト從子ト互ニ行フベキ務ハ。父母ノ務ニ比スレバ輕シト雖凡。其基ク所ハ猶相等シトス。同上

○其他族人ハ皆其祖先ヲ同ウシ。共ニ一家ヲ成ス者ナリ。故ニ互ニ相親愛シ。互ニ相保護シ。其家名ヲ損ゼズ。是ヲ子孫ニ傳フルヲ以テ其務ト爲スベシ。同上

○老者ハ之ヲ尊重スベシ。凡。老者ノ能ク其生業ヲ成就シ。多少ノ辛苦ニ堪ヘ。能ク族人及。國家ニ對スルノ務ヲ行ヒ以テ高年ニ及ビ。其身體衰弱

レ。或ハ氣力耗耄スルニ至ラバ。少年子弟之ヲ敬
愛シ且之ヲ慰安シテ。適意ニ其一生ヲ終ラシム
ベキヲ勉ムベシ。同上○以上兄
弟老幼ノ道

○師ハ我ニ善教善規ヲ授ケ。又學術ヲ教ヘテ我
資益ヲ爲シタル者ナレバ。父母ニ等シク之ヲ敬
愛シ之ニ順從シテ其恩ヲ忘レザルベシ。同上

○師ハ謝金ヲ呈スルノミヲ以テ。既ニ其恩ヲ報
イタリト思フベカラズ。凡師ノ弟子ヲ教導スル
勞ハ。飲食衣服ノ類ノ彼此相換ヘ賣買スベキガ
如キニ非ズ。蓋謝金ハ唯師ノ時日ヲ費シタルニ

波

報ユルノミニシテ。我畢生間ノ幸福トナルベキ
學業ヲ教ヘ。我知識ヲ擴メタルノ大恩ハ。猶未報
イザルナリ。同上○以上
師弟ノ道

○僕婢ハ家族ノ一部トモ謂フベキ者ナリ。故ニ
其主長ヲ尊敬シ。其命ニ順從シ。以テ之ヲ助ケ之
ヲ護スベシ。又主長ハ之ニ報イ。僕婢ヲ役使スル
ノ寛裕ニシテ恩惠ヲ施シ。其規矩トナリテ善ヲ
教ヘ惡ヲ制シ。之ヲ指令スルニ非理ヲ以テスベ
カラズ。俸金ヲ與フルニ約ヲ違フベカラズ。同上
○主人ハ僕婢ニ對シ。已ノ權ヲ擅ニセザルニ注

意。其庸弱貧困ナルヲ憐ミテ之ヲ恕シ。若其身
人ノ僕婢トナルハ。自其主人ニ遇セラル、ヲ
欲スルガ如ク。亦其僕婢ヲ遇スベシ。殷氏ノ修身

○僕婢ハ其主人ノ權利ヲ保全スルヲ猶己ガ權
利ヲ保全スルガ如ク。主人ノ爲賣買勞動造築割
烹陪侍等ヲ爲スニ。常ニ節約ヲ主トシテ死費ヲ
省キ。主人ノ資益ヲ思フ。其誠心ニ出テ。信實ニ
勤勞スベシ。同上

○僕婢タル者ノ職令ハ二アリ。一ハ從順ニシテ
二ハ信實ナリ。弗氏ノ修身學。以上主從ノ道。

○凡家長ト爲リテハ。必謹ンデ禮法ヲ守リ。以テ
羣子弟及家衆ヲ御シ。之ニ分ツニ職ヲ以テシ。之
ニ授クルニ事ヲ以テシテ其成功ヲ責メ。財用ノ
節ヲ制シ。入ルヲ量リテ出ス。ヲ爲シ。家ノ有無
ニ稱ヒテ以テ上下ノ衣食及吉凶ノ費ヲ給ス。皆
品節アリテ均一ナラザルヲナク。死費ヲ裁省シ
奢華ヲ禁止シ。常ニ稍贏餘ヲ存シ。以テ不虞ニ備
フベシ。司馬溫公居家雜儀

○家を興スル子孫あり。家を破るも子孫あり。子
孫に道を教へば子孫の繁昌を求むるハ足

なぐりて行くとを願ふにむとし。翁問答○以上
家長ノ道

山ノ中ノ草ニ似

皮

第八 交際

① 忠恕ハ道ヲ違ル丁遠カラズ。諸ヲ已ニ施シテ
願ハザレバ。亦人ニ施ス丁勿カレ。中庸

② 賢ヲ見テハ齊シカラシ丁思ヒ。不賢ヲ見テ
ハ内ニ自省ルナリ。論語

③ 躬自厚フレテ薄ク人ヲ責ムレバ。怨ニ遠ザカ
ル。同上

④ 君子ハ言ヲ以テ人ヲ舉ゲズ。人ヲ以テ言ヲ廢
セズ。同上

⑤ 衆コレヲ惡ムモ必察セヨ。衆コレヲ好ミスル

モ必察セヨ。同上

⑥或人曰ク。徳ヲ以テ怨ニ報イバ何如シ。孔子曰ク。何ヲ以テ徳ニ報イン。直ヲ以テ怨ニ報イ。徳ヲ以テ徳ニ報イヨ。同上

⑦下ヲ用テ上ヲ敬フヲ。之ヲ貴キヲ貴ブト謂ヒ。上ヲ用テ下ヲ敬フヲ。之ヲ賢ヲ貴ブト謂フ。孟子

⑧或ハ心ヲ勞シ。或ハ力ヲ勞ス。心ヲ勞スル者ハ人ヲ治メ。力ヲ勞スル者ハ人ニ治メラル。人ニ治メラル者ハ人ヲ食ヒ。人ヲ治ムル者ハ人ニ食ハル。天下ノ通義ナリ。同上

波

⑨人ヲ愛シテ親マズンバ其仁ニ反レ。人ヲ治メテ治マラズンバ其智ニ反レ。人ヲ禮シテ答ヘズンバ其敬ニ反レ。同上

⑩古靈ノ陳襄仙居ノ令ト爲リ。其民ヲ教ヘテ曰ク。吾民タル者ハ父義ニ母慈ニ。兄友ニ弟恭ニ。子孝ニ。夫婦恩アリ。男女別アリ。子弟學アリ。鄉閭禮アリ。貧窮患難ハ親戚相救ヒ。婚姻死喪ハ隣保相助ケ。農業ヲ墮スコナク。盜賊ヲ爲スコナク。賭博ヲ學ブコナク。爭訟ヲ好ムコナク。惡ヲ以テ善ヲ陵グコナク。富ヲ以テ貧ヲ吞ムコナク。行ク者ハ

路ヲ譲リ。耕ス者ハ畔ヲ譲リ。斑白ノ者道路ニ負
戴セズンバ。則禮義ノ俗タラン。

①人ノ害ヲ爲サズ。人ノ財貨ヲ奪ハズ。人ノ品物
ヲ占領セズ。人ノ物ヲ毀損セズ。人ノ物ハ妄ニ之
ヲ撫弄セズ。人ヲ誹謗セズ。人ノ善ヲ稱シ人ノ德
ヲ敬スルニ。毫モ妬心ヲ懷カズ。總テ己ノ欲セザ
ル所ヲ人ニ施サバルハ。公義ヲ守ラントスル者
ノ必務ムベキ所ナリ。勸善訓蒙

②惡事ヲ爲サンコヲ約スルハ不善ノ一ニシテ。
若其約ノ如ク之ヲ實際ニ行フハ。更ニ其不善

波

ヲ重ヌルノ理ナリ。故ニ人ハ正理ニ合ヒ。行ヒ得
ベキ事ノミ之ヲ約シ。其約ハ必誠實ニ之ヲ守ル
ベシ。同上

③人ヨリ托セラレタル密事ハ。妄ニ之ヲ洩スベ
カラズ。若之ヲ洩スハ。其人ニ對シ信義ヲ破リ
タルト云フベシ。同上

④人ヨリ恩ヲ受ケタル時ハ。必之ニ報イザルベ
カラズ。猶人ヨリ金錢ヲ借りタル時ハ。必之ヲ返
還セザルベカラザルガ如シ。同上

⑤妬心ヲ以テ人ノ材能善德ヲ賤シメ。又ハ人ノ

意志ヲ知ラズシテ其所行ヲ誹ルベカラズ是又公義ヲ守ル者ノ宜シク謹ムベキ所ナリ。同上

④他人ノ所有物ニ損害ヲ加フルコナキハ人ノ道ナリ。此理ヲ推スルハ。凡他人ニ屬スル家屋田野樹木等ハ。一切傷損スルコナク。禾實ノ生ジタル土地ハ。安ニ通行スルコナク。塙屏ノ如何ニ矮疎ナルモノト雖也。其圍繞シタル地ニハ戒メテ入ルコ勿カレ。同上

⑤世に交ふるに言寡く事をよく勉め。謙るを吾才に矜らば。人を敬ひて侮らば。人を誹らば。人情

放

を知らず人を怨と咎めば。世變を知らず時宜よ應じ。信義を堅く守りて約を變ぜば。身を潔くして貪慾の汙あし。此の如くをまば過少くして。いづとにても人の惡と誹るべき様あし。大和俗訓

⑥世に接するに。和して流まざるを善しといふ。和まざる人に背うは。流まざれば道を失はば。是世に接するよき程の中道ある。同上

⑦人まゝに無禮ありとて。我恥辱にあらざることを咎むべからば。人の無禮を宥め恕して堪忍をまど。我心和平にして樂を失はば。人に爭をばし

て無事あり。同上

④凡人の心の同じうらざるは其面の如し。世間の人毎に各心替まる故に。爲をまを我思ふ如くあらざるも。人の心の有様此の如しと思ひ。我心に協もざるも人を尤むづらん。同上

⑤人に對して物言ふに。我位と年との程を顧み。又對する人の位と年との品を知りて。其室に適ふを禮あり。もし未物ある人。少し人を敬ひ過ぐる節に當らざるも大なる誤にあらず。我位より驕まるは。無禮にして大なる過不

波

同上

⑥惡ニ報ユルニ惡ヲ以テスルヲ勿カレ。凌辱ニ報ユルニ凌辱ヲ以テスルヲ勿カレ。只善ヲ以テ惡ニ報イ。善ヲ以テ惡ニ勝ツヲ求ムベシ。勸懲雜語
○世間ノ人ハ盡恭敬スベシト雖モ。智アル者徳アル者ト。不善ナル者驕傲ナル者ト。同様ニ之ヲ恭敬スベキニ非ズ。併ナガラ縦ヒ不善ナル人ト雖モ。非禮ヲ以テ之ヲ取扱フベカラズ。天下ニハ一人モ非禮ヲ以テ取扱フベキノ人アルナシ。
希氏ノ修身學

者ハ交際上ニ於テ貴重ナル徳ト稱スベシ。故ニ人タル者ハ必、此儀則ヲ履行シ。深ク夫辭ヲ以テ人ヲ誹毀シ。カラ以テ人ヲ損傷スルガ如キ暴行ヲ戒ムベシ。撒氏ノ脩身學

ノ交際上ノ禮式ハ。風俗國土ノ殊ナルニ隨ヒテ。各樣ノ異アリト雖。其社會ノ公論ニ於テ。是ヨク道德事理ニ適スル者ナリト許スノ間ハ。吾輩

放

謹シデ之ヲ遵守スベシ。同上

仁惠ノ道ハ甚廣シト雖。性命產業ヲ失ハントスル者。又ハ窮乏ナル者ヲ救助シ。惡人ノ爲ニ

襲撃劫掠ニ逢フ者ヲ防護シ。老衰重病ニテ自生計ヲ立ツル能ハザル者ヲ賑恤シ。不幸ニ逢フ者

ヲ慰安スル等ハ。其目ノ最大ナル者ナリ。勸善訓蒙

富貴ノ者ハ貧賤ノ者ヲ恤ミ恩ヲ施スベシ。財

貨ヲ有セズト雖。身體ノ壯健康ナル者ハ。危難ニ逢フ者ヲ救ヒ。重荷ヲ負フ者ヲ助クルヲ得ベシ。是又仁惠ノ一ナリ。同上

後漢、朱暉、一綱要ニミミキリ

晉書、巨師、治

晋荀巨伯
人、座ラ省シ
綱要二廿五
表

人ニ恩ヲ施スハ常ニ正理ニ基クベシ善惡ノ
差別ナク濫ニ人ニ恩ヲ施スベカラズ。惡人ニ恩
ヲ施スルハ却テ其惡ヲ助クルヲアリ。同上
人ニ恩ヲ施スト雖、後ニ其報ヲ得ントスル
ノ念アル者ハ善ヲ行フニアラズ。惟恩ヲ交換ス
ルノミ。故ニ之ヲ稱譽スルニ足ラズトス。同上
凡、都鄙を論ゼバ、同じ鄉村に住居する人ハ、先
祖以來常に行通ひ、互に久しく馴習ぬまば、其筋
目尤忘るべからば、いのおまき、今の世の人を、一
旦の怒又と僅の慾によりて、日頃の好を忘る。

波

にや。或は田宅の界を争ひ。或は金銀の債ををた
りて。雙方怒を起し。遂にハ公事訴訟にも及び。一
郷の騷ともなる。尤歎あしきとあり。六論衍義
大意
○さて郷里相交するの道をいふ。常に歡び吊
ひをのぐ。病煩ひを問ふ。定まるたるをいふ。
あがら。尤禮義を盡し。眞實の志を致さべし。水火
盜賊不虞の難あらば。互に合力して隨分救ひ援
とべし。行迹の惡き人を。幾度も懇に諫むべし。
賢徳ある人を。敬ひ。學問ある人を。親み。材藝
ある人を。譽め。愚鈍を。無能なる人を。教へ。誘

ハ世修身言 卷一 文音
びき。爭に及ぶ者をバ取扱ひ。憂に沈む人をバ問
慰め。孤兒寡婦老病不具ある人をバ傷み憐み。困
窮無力の人をバ賑はし濟ふべし。同上

○凡正直無罪ナル人ヲ誘惑シテ惡道ニ陷レ。以
テ風俗ヲ壞亂スル者ハ。真ノ邪惡ト稱スベシ。或
ハ言論著述ヲ以テ道德ヲ嘲笑シ。又ハ淫靡ノ圖
書ヲ出版シテ。人ノ邪念ヲ發動セシムルガ如キ
ハ皆是ナリ。或ハ其才ヲ譽ムル者アレ氏。此ノ如
キ才ハ其世ヲ害スルヲ反テ才ナキヨリ甚シ。故
ニ年少者ハ男女ノ別ナク。殊ニ儆戒シテ此傷害
波

ヲ防クベキナリ。物氏ノ修身學
際ノ道ヲ論ズ ○以上汎ク交

○益者三友損者三友アリ。直ヲ友トシ。諒ヲ友ト
シ。多聞ヲ友トスルハ益ナリ。便辟ヲ友トシ。善柔
ヲ友トシ。便佞ヲ友トスルハ損ナリ。論語

○子貢友ヲ問フ。孔子曰ク。忠告シテ善ク之ヲ道
ク。不可ナレバ止ム。自辱ムルヲ勿カレ。同上

○鐵ヲ以テ鐵ヲ治ムレバ交相磨礪ス。益友モ亦
是ノ如シ。瑣羅門ノ箴言

○善人ト同ジク處レバ日ニ善訓ヲ聞キ。惡人ニ
從ヒ遊ベバ日ニ邪情ヲ生ズ。蓬麻ノ間ニ生スレ

ハ。扶ケズレテ自直^ラ。白沙緇ニ入レバ。染メズレテ自^ラ黒^ラ。王充論衡

○人其朋友ニ益ヲ爲サントスルニハ。正直ノ道ヲ以テ之ヲ爲スベシ。又朋友ノ助ヲ得ントスルニモ。道德ノ教ニ背キタルヲ由リテ之ヲ假ルベカラズ。是レ人朋友ノ交ヲ厚フセントスルトモ。道德ノ法則ニ違フテ之ヲ爲スベカラザルニ由ルナリ。勸善訓蒙

○真友ハ吾身ノ爲^ニ一ノ寶庫ナリ。此寶庫ハ滿籛ノ金アリトモ得難キ所ニシテ。飢寒布褐ノ士

波

ノ却テ得ル所ナリ。汝等之ヲ得ント欲セザルカ。若得ンコヲ欲セバ。惠愛信義ヲ以テ人ト交ハラズンバアルベカラズ。勸懲雜話

○友だちの交りに心友面友の差別。情義の親疎さゆぐありといへども。畢竟皆信の道を本とて互の志同じと交り親むを心友といふ。志の違ひぬまども。筋目あるを。或は同郷隣家。或は同官同職などにも。常に相交りて親むを面友といふ。一目知る人も面友の中あり。心友面友ともに情義の親疎同じあらん。其ほどくの義理に随ひて威

儀恭しく挨拶柔和にこそ偽なく。勿論約束るとの少しも違變なきが。信の道の大體あり。○以上

友友ノ交ヲ論ス

○人ノ此世ニ生ル、ヤ。獨己ノ爲ノミニ非ズ。亦國ノ爲家ノ爲朋友ノ爲衆庶ノ爲ニ生レタル者ニシテ。就中國ハ最愛スベキ者ナリ。故ニ止ムヲ得ザルハ。國ノ爲ニ其性命ヲ擲ツベシ。希臘布

○兵無ケレバ國人ヲ護シテ外寇ヲ防グヲ能ハズ。官吏無ケレバ國ヲ治メ法度ヲ行フヲ能ハズ。

波

道路無ケレバ國中ノ往來ヲ便ナラシムルヲ能ハズ。溝渠無ケレバ舟楫ノ利ヲ通ズルヲ能ハズ。學校無ケレバ兒童ヲ教ユルヲ能ハズ。然ルニ若士民租税ヲ政府ニ納メザレバ。何ヲ以テカ官ヨリシテ是等要用ノ諸件ヲ設クルヲ得ンヤ。是則租税ヲ納ムルハ。各士民ノ務タル所以ナリ。善勸

訓蒙

○人ハ其身位ノ尊卑ヲ問ハズ。己ノ國ヲ裨益スルヲ忘ルベカラズ。夫農夫商估工人ハ。國ノ物産ヲ増シテ國益ヲ爲シ。學士識者ハ衆庶ノ心智

ヲ啟キテ國益ヲ爲ス。猶兵士官吏ノ其職ヲ盡
シテ國益ヲ爲スニ異ナルナリ。同上

○國民ノ政府ニ服従スルヲ表スルハ左ノ如
シ。曰ク法律ニ從フ。曰ク官吏ノ權ヲ奉ズル。
曰ク官府ノ諸事諸物ヲ尊敬スル。曰ク官府ノ
規則及其一時ノ命令ヲ守ル。以上ノ諸件ヲ能
ク行フ者ハ則平靜安全ニシテ。能ク其分ニ安シ
ジ。天法ヲ永遠ニ保守スルノ民ナリ。希氏ノ修身學
○國民ハ總テ政府ヨリ法律ニ據リテ命ジタル
勞役ニ服事スベキナリ。或ハ官事或ハ軍事。其

波

二國ノ爲ニ徵召サル、時ハ決シテ之ヲ否ハベ
カラズ。同上

○邦國ハ特ニ人民各自一個ノモノ、合併セル
總名ナレバ。所謂開化文明ト云フ者ハ他ナリ。其
國ノ人民男女老少各自ニ品行ヲ正クシ。職業ヲ
務メ。藝事ヲ修メ善クスル者合集シテ。開化文明
トナルナリ。立志編

○人民ノ品行ノ性質ハ何如ナルヲ優等ト爲ス
ベキヤ。曰ク心思高尚。曰ク真實。曰ク忠直。曰ク有
德。曰ク勇毅。人民ノ性質此ノ如クナレバ。其國爛

然トレテ光采アリ。他國ヨリ仰望シテ尊敬セラ
ルベシ。磐石ノ重キガ如ク。四方ヲ鎮壓スルノ威
アルベシ。以上ニ言ヘル性質ノ外ニ要須ナル者
ハ。曰ク敬慎。曰ク規則整齊。曰ク自能ク統治ス。曰
ク心ヲ職令ニ盡ス。此等ノモノ人民ノ品行ヲ植
ツルニ於テ亦少クベカラズ。若夫人民ノ或ハ專
尊ト爲シ。別ニ氣象ノ更ニ高キヲ有セザル者ハ。
其國ノ陋劣ナルヲ曾テ野蠻ノ國ニダモ若カザ
ルナリ。品行論

小學修身訓下終

彼

明治十四年九月廿日 翻刻御届

廣鳴縣平民

定價九錢五厘

翻刻人

岩崎永助

廣鳴區猿樂町
百五十九番邸

廣鳴

發兌

以文社

